

令和 7 年 5 月 27 日(火)付

島根県立大に 地域教員希望枠

県内高校生対象

島根県立大(本部・浜田市野原町)が2025年度実施の入試から「地域教員希望枠」を創設する。大学卒業後に県内で教員になることを希望する県内高校生が対象で、松江キャンパスの人間文化学部で計8人を募集する。

小学校教諭や特別支援学校教諭の免許が取得できる保育教育学科(定員40人)は5人、中学、高校の国語、英語教諭の免許が取得できる地域文化学科(同70人)

は3人を募集する。県内の高校に通っているか、県内に居住する高校生が対象。総合型選抜で共通テストを課さず、小論文や面接、書類審査で判断し、評定平均の一定条件を設定する。実施は11月を予定している。

24年度に島根大と共同で国から採択を受けた教員養成事業の一環。希望枠で入学した学生は、教育現場でのボランティア活動など実践的な場を増やす方針で、26日に松江キャンパス(松江市浜乃木7丁目)で開いた会見で、山下一也学長は「質の高い教員の養成は喫緊の課題。島根の教育と地域社会の持続的発展に貢献する」と話した。

県立大の24年度教員採用試験合格者21人のうち県内採用は8人。25年度の県内公立学校の教員欠員数は過去最多の64人となり、教員確保が課題となっている。

(小引久実)